

<h2 style="text-align: center;">ベニシジミの飼育法</h2> <p>作成：2005.10.10 仲西周二 写真提供：小柴清之</p>	
--	---

全般

虫屋がシーズン開幕を待ちわびる春まだ浅い2月下旬、近郊の河川の土手などで本種の終齢幼虫を採集して春一番の飼育を楽しむことができる。暖かい日であれば気の早い

モンキチョウの飛翔を横目に、食痕のあるスイバの葉を分けて株元の幼虫を探せば、土の温みや早春の香りが伝わってくる。普通種ではあるが飼育屋への春一番到来である。



幼虫の飼育

スイバもしくはギシギシの葉をタレ瓶など小型容器に瓶挿しし、タッパー容器に收容する。蓋はメッシュ張りとする。容器の底から瓶の口の高さまでキッチンペーパーなどをくしゃくしゃにしたものを詰め、幼虫の足元

と株元の隠れ場所を与える。幼虫には緑色型と桃縁型の2種が見られる。短期間の飼育で葉裏やキッチンペーパーに蛹化する。羽化に格別の注意は要らない。

